



島根労働局発表  
平成28年5月27日

島根労働局職業安定部職業対策課  
担当 職業対策課長 米原 幸男  
障害者雇用担当官 沖田 博司  
TEL 0852-20-7022

### ハローワークを通じた島根県内の障害者の就職件数が過去最高を更新 — 平成27年度障害者の職業紹介状況等 —

島根労働局（局長 浅野 茂充（あさの しげみつ））は、平成27年度の障害者の職業紹介状況をまとめましたので、公表します。

ハローワークを通じた島根県内の障害者の就職件数は、過去最高であった平成26年度の753件を上回る876件（16.3%増）となり、平成17年度以降11年連続で過去最高を更新しました。

#### ◎ 障害者の職業紹介状況の主なポイント

- 新規求職申込件数は、1,396件で対前年度比86件（6.6%）の増（前年度1,310件）。就職件数は、876件で対前年度比123件（16.3%）の増（前年度753件）。

【表1・図1、表2・図2】

	新規求職申込件数		就職件数	
	26年度	27年度（対前年度比）	26年度	27年度（対前年度比）
身体障害者	352件	344件（▲8件、2.3%減）	179件	191件（12件、6.7%増）
知的障害者	251件	288件（37件、14.7%増）	186件	183件（▲3件、1.6%減）
精神障害者	612件	649件（37件、6.0%増）	331件	431件（100件、30.2%増）
その他の障害者（注）	95件	115件（20件、21.0%増）	57件	71件（14件、24.6%増）

- 就職状況を産業別にみると、「医療、福祉」240件（27.4%）、「卸売業、小売業」192件（21.9%）、「製造業」124件（14.2%）が多くなっている。【図3】
- 就職状況を職業別にみると、「運搬・清掃・包装等の職業」235件（26.8%）、「事務的職業」153件（17.5%）「サービスの職業」150件（17.1%）が多くなっている。【図4】

（注）その他の障害者は、「発達障害者」、「難治性疾患患者」、「高次脳機能障害」及び「その他の障害者」である。

# 平成 27 年度障害者職業紹介状況

島根労働局

## 1. 求職申込件数

求職申込件数は、前年度比 6.6%増の 1,396 件（前年度 1,310 件）となりました。これを障害種別にみると、身体障害者は 2.3%減の 344 件（同 352 件）、知的障害者は 14.7%増の 288 件（同 251 件）、精神障害者は 6.0%増の 649 件（同 612 件）、発達障害者は 15.8%増の 44 件（同 38 件）、難治性疾患患者は 20.6%増の 41 件（同 34 件）、高次脳機能障害者は前年と同数の 5 件となりました。

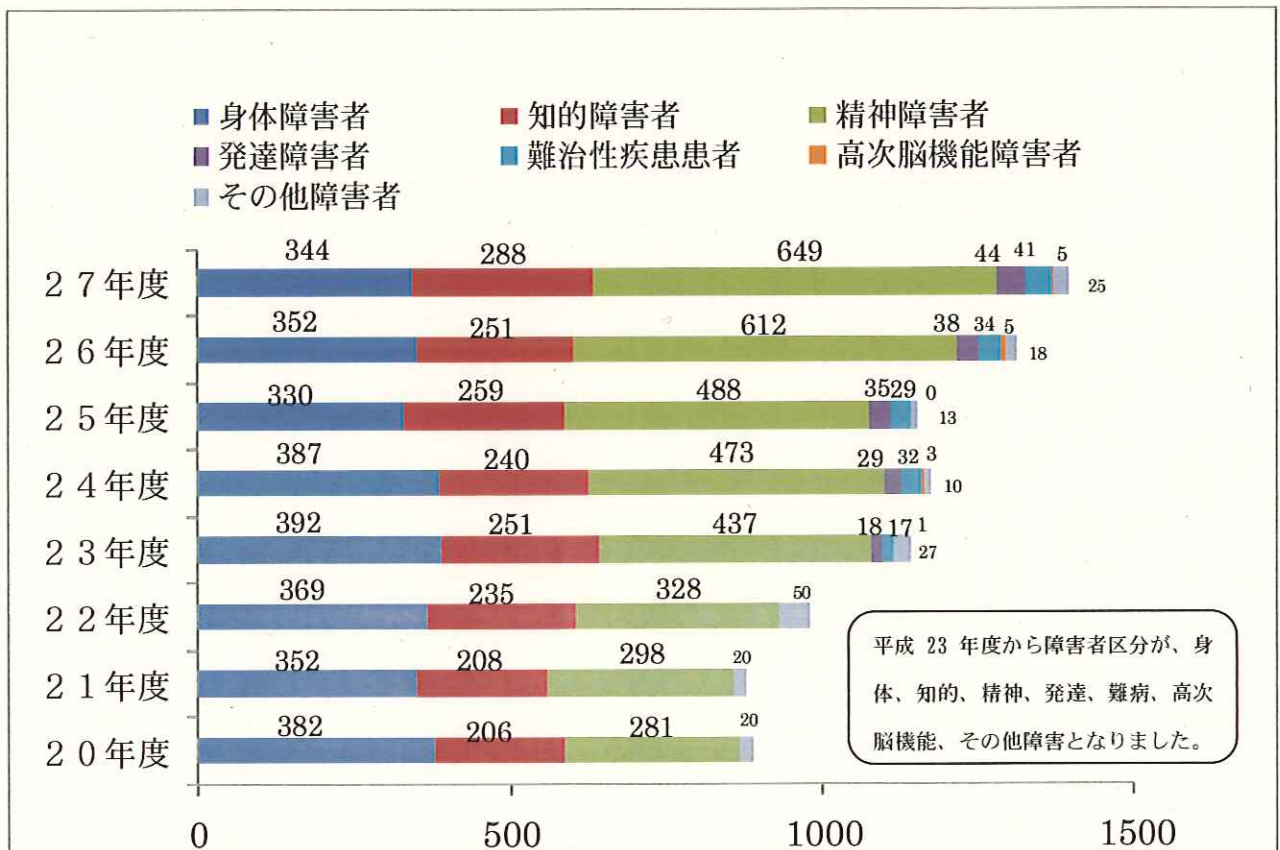
【表1】 新規求職者の障害別状況

(単位:人:%)

	新規求職申込件数							
	身体障害者	知的障害者	精神障害者	発達障害者	難治性疾患患者	高次脳機能障害者	その他	
平成27年度	344	288	649	44	41	5	25	
平成26年度	352	251	612	38	34	5	18	
前年度比	▲ 2.3	14.7	6.0	15.8	20.6	0.0	38.9	

【グラフ1】 新規求職者の障害別状況

(単位:人)



## 2. 就職件数

ハローワークにおける障害者の就職件数は、毎年増加傾向が続いており、平成27年度の就職件数をみると、前年度を16.3%上回る876件（前年度753件）となり、11年連続の増加となって過去最高をさらに更新しました。

これを障害区別にみると、身体障害者が191件で前年度比6.7%（前年度179件）、精神障害者が431件で同30.2%（同331件）、発達障害者が27件で同35.0%（同20件）、難治性疾患患者が33件で同50.0%（同22件）とそれぞれ増加し、知的障害者が183件で同1.6%（同186件）減少しました。

なかでも精神障害者は、平成18年度から精神保健福祉手帳を所持する精神障害者を法定雇用率に算定できることとなった以降、増加を続けています。

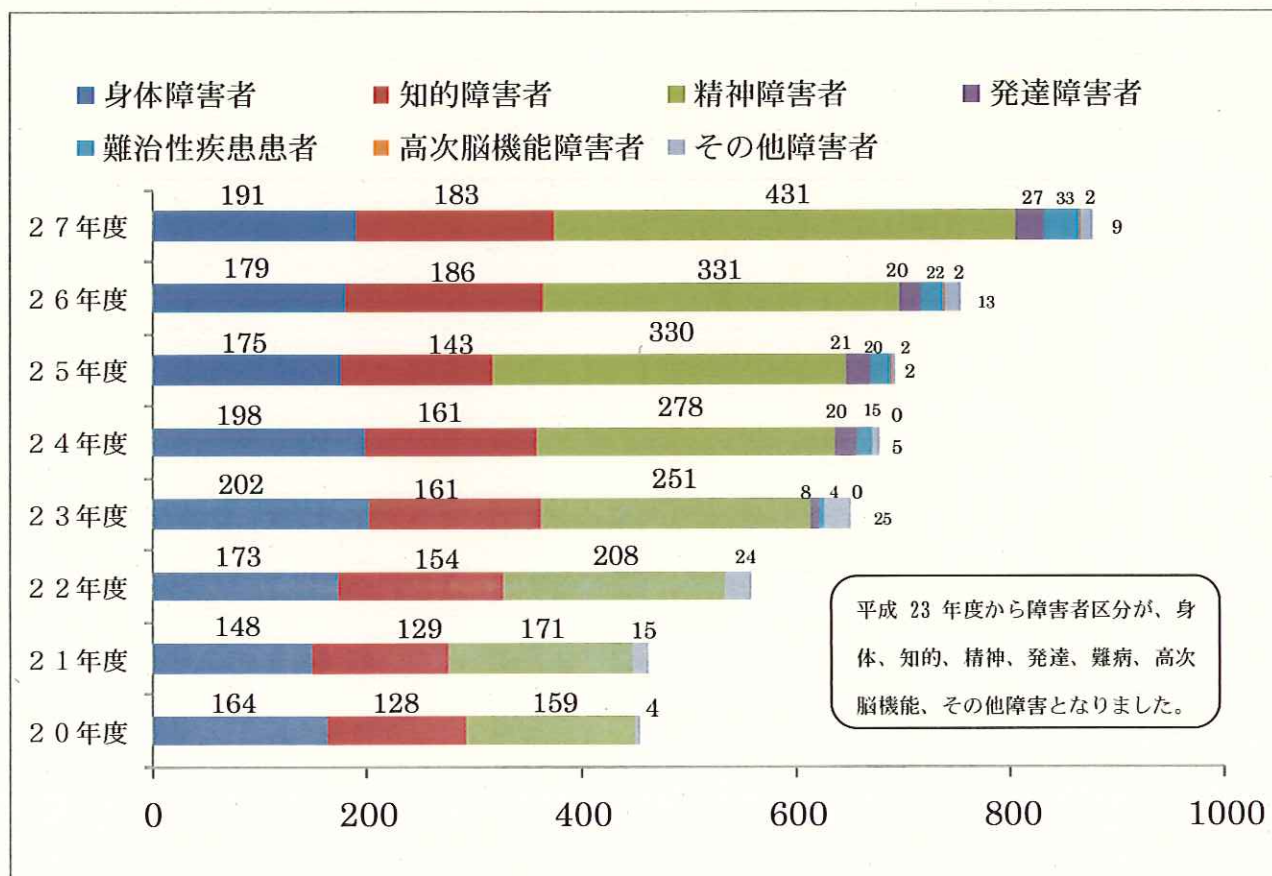
【表2】 就職件数の障害別状況

（単位：人：%）

	就職件数							
	身体障害者	知的障害者	精神障害者	発達障害者	難治性疾患患者	高次脳機能障害者	その他	
平成27年度	191	183	431	27	33	2	9	
平成26年度	179	186	331	20	22	2	13	
前年度比	16.3	▲1.6	30.2	35.0	50.0	0.0	▲30.8	

【グラフ2】 就職件数の障害別状況

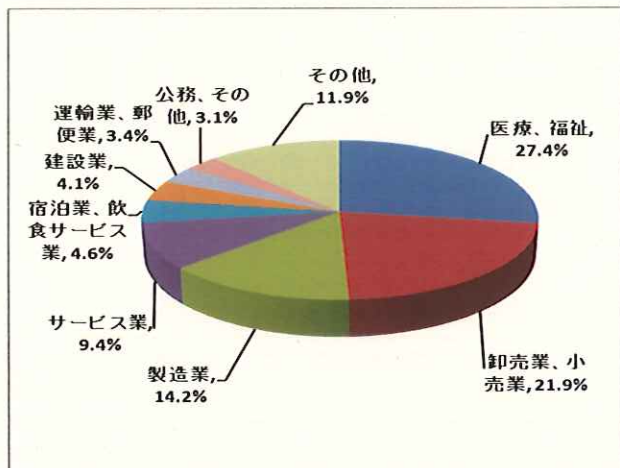
（単位：人）



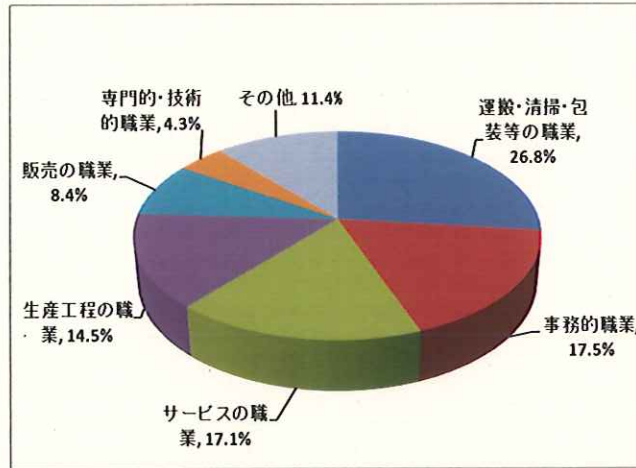
就職件数を産業別で見ると、医療、福祉が最も多く27.4% (240件)、次いで卸売業、小売業21.9% (192件)、製造業14.2% (124件)、の順となっています。

職業別では、運搬・清掃・包装等の職業が最も多く26.8% (235件)、次いで事務的職業17.5% (153件)、サービスの職業17.1% (150件)の順となっています。

【グラフ3】産業別就職状況



【グラフ4】職業別就職状況



### 3. 解雇者数

平成27年度の解雇者数は、7人となっており前年より2人減少しました。そのうち事業廃止等によるものは5人でした。

【表3】解雇者の状況

(単位:人:%)

	①解雇届提出があった事業所数	②解雇者数		③解雇理由				④障害種別		
			うち派遣労働者の数	事業廃止	事業縮小	本人の責	その他	身体	知的	精神
平成27年度	5	7	0	3	2	0	2	2	4	1
平成26年度	7	9	0	7	1	0	1	4	5	0
前年表比	▲ 28.6	▲ 22.2	0.0	▲ 57.1	100.0	0.0	100.0	▲ 50.0	▲ 20.0	-

【グラフ5】障害者解雇者数の推移

